

## 繊維用難燃剤 ピロガード FB シリーズ



檀 照夫 だん てるお

機能化学品事業部 機能化学品営業部  
繊維・紙/バルブ薬剤担当 課長  
06-6229-1728  
t.dan@dks-web.co.jp



### 今後さらに需要が高まる。 防災、環境保全にも貢献する新時代の難燃剤。

—当社に入社されて、ずっと営業部門を担当して  
こられたのですか。

檀 入社して39年になります。そのうち35年は営業です。はじめは、製造部門で、七条千本の京都工場に4年半ほどいました。その後、大阪支社に移ってからは、今日までずっと営業畑を歩んできました。当社の製品は、衣食住のさまざまな分野でお使いいただいていますから、担当しました製品も非常に多岐にわたります。とくに、北陸営業所では繊維関係の方々、名古屋支店では自動車産業やセラミックス業界、機械・金属分野の方々をはじめ、およそ20年にわたって、多くの業界、業種の方々とおつきあいさせていただきました。

こうした多くの人たちがおられてこそ、今の私があるとも言えます。また、当社の、ほとんどの製品について、それがどのようにお使いいただき、お役に立ち、さらに何が求められているかも知ることができ、多くのことを学ばせていただきました。まさにこの経験と人脈こそが財産であると心からそう思っています。ほんとうにありがたいことです。

— 難燃剤のピロガードは、主にどういった用途に  
使われているのですか。

檀 プラスチック用と繊維用に大別されます。当社では従来プラスチック用途が主体でした。これは、素材そのものに練り込むタイプで、家電製品や電子材料など

に使われています。今回紹介します繊維用のものは、水分散体にして染料といっしょに加工します。こうして開発されたのが、繊維用のピロガード FB シリーズです。

住宅用に、インテリアなども含めるとさまざまな繊維製品が使われていますね。カーテンやカーペット、椅子など。また劇場やホテル、学校などの公共施設では、どんちよう緞帳や暗幕などがあります。広告用の宣材として旗や幟のぼりなども難燃性が求められます。カーシートなども同様です。



## 繊維用難燃剤

## ピロガード FB シリーズ

—消防法などの法規制によって需要も一気に高まってきたのでしょうか？

檀 昭和60年代の前半に、住宅火災による犠牲者が増えて社会問題になり、住宅防火対策検討委員会(消防庁)の指針のもと各種の取り組みを実施してきました。難燃剤の普及促進もここからです。とくに公共施設は導入が早かったですね。一般家庭でも強制ではないのですが、確実に需要が高まっています。

それからこの難燃処理製品には、『防災ラベル』というマークがつけられます。一種の安全・安心の証しのようになっているのですが、この普及も需要の拡大につながっていると言えます。

ご存知のように、火災は恐ろしい災害です。私たちの生命、家族の命や大切な住まいや財産を一瞬にして奪ってしまいます。また最近では、高齢者のお宅も多くなりました。それだけ、消火器、火災報知器の設置や、防災性の高い家電製品への関心なども高まってきていますし、求められてきています。

ピロガード FB シリーズもまた、こうした防災、防災という社会の要望に応え、その一端を支えている製品であることを私たちも強く自覚しています。

—最新の、ピロガード FB シリーズにはどんな特長がありますか。

檀 最大の特長は、非HBCD(ヘキサブromシクロドデカン)対応ということです。HBCDは、比重が重く、蓄積性と難分解性により現行の第一種監視化学物質から第一種特定化学物質の指定を受ける可能性があり、現在も調査中です。近く全世界で使用できなくなるかもしれないのです。ピロガード FB シリーズは、従来と同じ難燃剤として優れた臭素系ですが、こうした世界的なニーズにいち早く対応した、新しい時代の繊維用難燃剤です。

当社は、かなり以前から開発をすすめ、いち早く特許も取得しています。また長年培ってきた界面活性剤の分散技術の蓄積もあり、この分野では他社をリードしていると確信しています。

## ■ 性状

外観	白色液状
固形分	45~50%
pH	約6(2%水溶液)
溶解性	水に容易に分散

## ■ 特長

- 1 非HBCDタイプ臭素系難燃剤
- 2 レギュラーポリエステルおよびカチオン可染型(CD)ポリエステル素材に対して耐久難燃性が付与できる
- 3 染色同浴加工、パッド・ドライ・サーモキュア加工に使用

## ■ 燃焼の循環



## ■ 難燃化の方法

燃焼サイクルを断ち切ることで達成される難燃化の方法

1. 引火点以下に下げる
2. 可燃性ガスの発生防止
3. 酸素の遮断